

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 成人看護学分野
科目コード:240023

ビジュアル看護社会実装演習 Practicum : Implementation Visual Nursing Skills

担当教員	大貝 和裕、紺家 千津子、峰松 健夫、臺 美佐子、長谷川 陽子				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	4	授業形態	演習
必修・選択	選択	時間数	90		
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	○
Keywords	EBP、診療報酬、看護の質保証、看護実践の継続				
学習目的・目標	<p>目的: 臨床にて可視化するアセスメント手法を実践し、EBPに基づくケア方法を立案する。さらに、立案したケア方法を臨床にて継続するための方策を検討する。また、国内外の文献抄読やフィールドワークを通して、特別研究へと有機的に連鎖させる。</p> <p>目標: 1. 個々で選定したテーマについてEBPを検索し、臨床適応の判断視点を抽出できる。 2. 診療報酬・介護報酬について理解する。 3. 看護の質の評価指標と、評価に必要なアセスメント視点を抽出できる。 4. 臨床にて可視化するアセスメント法を実践し、その結果の基づきケア計画を立案できる。 5. 臨床における看護技術の実装を妨げる課題を導き出し、課題解決策を提示できる</p>				
授業計画・内容					
回	内容				
1	オリエンテーション 臨床における課題解決手法(PICO、PECO)				
2	抽出した課題に対するEBPの手順1:概要と自己の疑問に対するPICOの作成				
3	抽出した課題に対するEBPの手順2:PICOを解決するための国内外の文献検索とクリティーク				
4-5	抽出した課題に対するEBPの手順3:国内外のガイドラインの検索とクリティーク				
6	抽出した課題に対するEBPの手順4:臨床適応の検討				
7	抽出した課題に対するEBPの手順5:PICOの結果発表				
8	看護に関連した診療報酬と介護報酬の現状				
9	フィールドワークに向けてのケア記録の作成				
10-12	病院におけるフィールドワーク1:可視化するアセスメントの実施				
13-14	見学事例のケア計画立案と提言資料の作成				
15-17	病院におけるフィールドワーク2:ケア計画の提言				
18-20	病院におけるフィールドワーク3:ケア計画の評価				
21-24	ケア計画を提言した事例の分析				
25-28	臨床における看護技術の実装を妨げる課題の抽出				
29-30	臨床における看護技術の実装を妨げる課題解決策の提言				
教科書	授業時に資料を配布する				
参考図書等	看護工学、東京大学出版会 Bioengineering Nursing: New Horizons of Nursing Research, Nova Science Pub 改定 DESIGN-R®2020 コンセンサス・ドキュメント、照林社 褥瘡ガイドブック、照林社 スキン-テア(皮膚裂傷)の予防と管理、照林社 IADベストプラクティス、照林社 「排尿自立支援加算」「外来排尿自立指導料」に関する手引き、照林社 ポイントオブケア看護エコー、照林社 エコーによる直腸便貯留観察ベストプラクティス、照林社				
評価方法・基準	演習・討議への参加姿勢や準備状況(50%)、課題の取り組み(50%)				
関連科目	成人看護学特論、ビジュアル看護実践論、看護イノベーション特論				
教員から学生へのメッセージ	フィールドワークで、修得したアセスメント技術をぜひ活用しましょう。さらに、看護実践を行う上で必要な管理的な視点も培いましょう。				